

あれこれ

山形県建築士会女性部委員会では入会者募集中！

お問合せ：山形県建築士会
Tel: 023-643-4568 <http://www.yamagata-ken.org>

■令和元年度 山形県建築士会女性委員会 事業内容・計画

4月6日(土)	各支部女性委員長会議	山形県郷土館 文翔館
4月13日(土)	第1回東北ブロック女性委員長会議	仙台市
6月7日(金)	山形県建築士会通常総会、懇親会	山形市パレスグランデール
7月13日-14日(土、日)	全国女性建築士連合会	東京
7月10日(水)	合同委員会	山形市パレスグランデール
10月5日-6日(土、日)	第2回東北ブロック大会	秋田
9月21日-22日(土、日)	第62回建築士全国大会	北海道 函館
10月	あれこれ(1号)発行	第1ブロック(鶴岡田川)担当
11月2日(土)	第2回建築女子フォーラム	第1ブロック(酒田)主催
10月or11月	青年大会	米沢市開催予定
令和2年3月	あれこれ(2号)発行	第1ブロック(鶴岡田川)担当

■第1回東北ブロック女性委員会委員長会議 報告

平成31年4月13日 第1回東北ブロック女性委員会委員長会議が宮城県建築士会仙台支部会議室で行われました。以下議事録(抜粋)を報告します。

各県活動報告と計画案(抜粋)

- [青森県]・こんな家に住んでみたいコンテスト・小学生の住宅アイデアコンテスト
- [秋田県]・民俗建築～山の神はなぜ女神か～学習会
- [岩手県]・沿岸部視察研修・予定陸前高田
- [山形県]・第一回建築女子フォーラム-建築中の五重塔見学に隣県から多数の参加をいただいた。
- [宮城県]・田代島「臣屋阿部家」清掃ボランティアから国の登録有形文化財に登録
 - ・仙台市職員と同行し耐震診断のPRをしている。
 - ・仙台市庁舎建築について自由参加のラウンドテーブル学識経験者を呼ぶので内容が濃い。
- [福島県]・女性建築士のつどいが今年30周年記念大会、例年夜に懇親会をしているが、事情(子育て介護等)があつてなかなか参加できない会員が参加できるように、昼の部をメインに企画している。
 - ・女性委員会が無くなる県が増えている実情もあるため、各委員が抱える事情(介護問題)等の間取りをしていく。

次に、東北ブロック会視察研修、全建女、全国大会北海道(函館)についての日程・内容等の確認を行いました。

- 他に、・女性部と青年部の情報交換していこう
 - ・大会誌刊行について-企業協賛を得る の意見が出ました。

以上

■令和元年度 第29回全国女性建築士連絡協議会 報告

令和元年7月13日14日に渡り 第29回全国女性建築士連合協議会が東京で行われました。開会式での、三井所清典会長、岡本森廣副会長、小野全子女性委員長の挨拶で開会しました。岩手県建築士会より「盛岡市鉾屋町の町屋再生の取り組み活動」秋田県建築士会より「『探し・残す』～白井建築物の調査・保存・活用を考えて」の活動報告がありました。被災地報告では、北海道建築士会、福島県建築士会、岡山県建築士会より報告がありました。年月が経っても忘れてはならないという思いと情報発信の継続の大切さ、地域と一体となった防災活動の重要度を再確認しました。

約250名の女性建築士が一堂に会した一日目の全体会では、有限会社原田左官工業所の原田宗亮氏をお迎えし、伝統技術である左官のこれからの可能性と、若手や女性をプロに育てるには、というテーマでご講演頂きました。原田左官の特徴や、育成・定着の仕組みを実際の訓練の動画を含めて説明頂き、ゲストの金澤萌氏のトークセッションも行われました。左官の道に進むことになった経緯、困ったこと、良かったことなど参加者からの質疑に回答して頂きました。

二日目の分科会では、「被災地支援の取り組み」「環境共生住宅 心地よい暖かさを求めて」「歴史的建造物と建物再生」「会員拡大へ向けた取り組み」「木造塾」「子供と住環境」「高齢社会と住まい」「クリークの再生とまちづくり」の8つのテーマのもとに熱心に討論を進めました。

それらの成果として、以下の点を今年のアピールとして発信して行くこととし、閉会しました。

1. 私たちは、今回の協議会を通して、建築士としての視点、生活者としての視点から、住まいづくり、まちづくりを考え、未来に続く豊かな居住環境づくりを目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、建築士として、和の伝統技術の継承と可能性を再認識し、次世代の育成を目指すとともに、受け継がれてきた地域の技術や素材を積極的に活用することに取り組んでまいります。
3. 私たちは、継続してきた災害報告等を通し、女性建築士として、復興支援のあり方や地域における適切な防災活動と、これからの安全な暮らしを考えていきます。
4. 私たち女性建築士は、様々な専門分野の方々と連携しながら、建築士としての能力を生かし、豊かな社会の実現のために日々努力してまいります。

■基調講演【和の伝統技術の継承と創造～新たなプロの育て方～ 原田宗亮氏】について

村山支部 草刈 めぐみ

毎年全国から女性建築士が集結し、これほどの女性たちが各地でがんばっておられ、建築業界も男性主体の社会ではなくなった。と思う反面、自分の会社に目を向けるとそうではない現実があると感じる。また、長年新入社員を迎えていないため、平均年齢は40代後半となっている。原田氏の基調講演を聞きヒントにできればと思った。

原田左官工業所も言わずと知れた昔かたぎの職人の集まりで、女性が左官の仕事を始めたころは目障りだと疎まれていた。しかし、女性の感性で左官に口紅やアイシャドウを砕いて入れたら、大学生が気に入り設計事務所に紹介され仕事につながった。女性は結婚も出産もあるけれど、現場に出るだけが左官の仕事じゃない。子育てしながら中でできる試作提案の仕事もある。原田左官工業所から独立された金澤さんとのトークセッションでは、当時の苦労話(現場に行くトイレの心配をするし、材料が重くセメント50kgを持ち上げられなかった)を交えながらも仕事の楽しさが伝わってきた。

新人が入社すると通常は試用期間があるけれど、条件だけ見て入社しても長続きしない。インターンシップが普及してきたが、お金を払ってでも仕事を体験してもらおうと仕事に興味を持てるし、自分が入社した状況を想像できる。「こういう人たちと働く」と納得でき、入社してすぐのミスマッチがないという。【仕事旅行社】では仕事体験旅行の商品がある。新人教育としては、見習い工として4年勤め終わると年季明け(一人前の職人になったお披露目)として盛大にお祝いをするという。左官の魅力もさることながら、原田さんと金澤さんの活気のある話に引き込まれ、うらやましく思った。お二人を真似て会社の状況が少しでも良くなればと思った。

■分科会の報告

B分科会 『環境共生住宅 心地よい暖かさを求めて』

鶴岡田川支部 三浦 美毅

星ひとみ氏より、古民家や新築住宅へのパッシブソーラーの仕掛けの報告と、床暖房(新築)、エアバス(新築)の家の温湿度を測定し壁面表面温度も測定したところ空気温度と感じ方に違いがあったことの報告を頂きました。

それぞれの環境による断熱効果を知るために実際行った測定はとても興味深く伺いました。

参加者との意見交換では、北海道から沖縄まで環境の違う日本でその地域にあった断熱、気密の仕方があり、施主の考え方、暮らし方も重要な要素であると再認識しました。

また、メーカーの推奨する断熱システムなどを採用しても、年数が経ち販売終了となったり、メンテナンスも出来ないと言われた、といった報告や国の補助体制の問題、施工性も話題にあがりました。

参加者の立場(設計側、施工側、施主側他)それぞれの視点からの活発な意見交換を伺えた有意義な分科会でした。

E分科会 『木造塾』

山形支部 原田 江美子

香川県建築士会で2010年より取り組んでいる『かがわ木造塾』について報告いただきました。

毎年、5~6回の講習会や講座の他、現地へ出向くフィールドワークを実施している。受講費は年間3万円程度。

単発の参加も可能。この他に、交通費、宿泊費自己負担で、県外研修も年一回行っている。

座学は全てCPD単位の取れる講座となっている。当然、受講者が少なければ赤字となり、継続できないという危機感のある中でのスタート。

しかし、参加者は年間200名を超え、9年間で2,031名となった。

運営スタッフは9人の建築士会会員ですが、発足当初からのスタッフは6人。

入れ替わりもありつつ10年目となった。

後半はグループワークで『地方や少人数でも持続可能な勉強会の始め方・進め方』について意見交換を行いました。

各都道府県建築士会とも会員減少する中、活動するには、やはり会員増強という結論に至ったのでした。



一日目のプログラム終了後、東北ブロックのみなさまと日比谷Barで交流を深めました。おしゃれなカクテルの揃った飲み放題。東北弁全開でおいに盛り上がりました。



■お知らせ『つるおか伝統木構法未来塾(千年塾)』より

建築士山形第99号の会員だよりでも紹介させて頂いた【くむんだー】のイベント出張体験の日時のお知らせです。

◆10月12日(土) 10:00AM~3:00PM

鶴岡市自然学習交流館ほとりあ「里山マルシェ」
鶴岡市馬町字駒繋3番地1 Tel:0235-33-8693

◆10月19日、20日 10:00AM~3:00PM

鶴岡大産業まつり
鶴岡市小真木原町2-1(小真木原運動公園内)



★【くむんだー】とは

【くむんだー】は、国産木材でできた柱や横材を組んで楽しむ木育玩具です。

日本の伝統的な木造建築のように柱と貫を組み合わせるとクサビを木槌で打ち込むとジャングルジムが出来上がっていきます。ジャングルジムで遊ぶというよりも組み立てる過程、解く(ほどく)過程を子供達に体験させることを目的としています。

◇イベント出張のお問合せ
建築士会女性委員会 小池まで